

# Take-Up & Winder

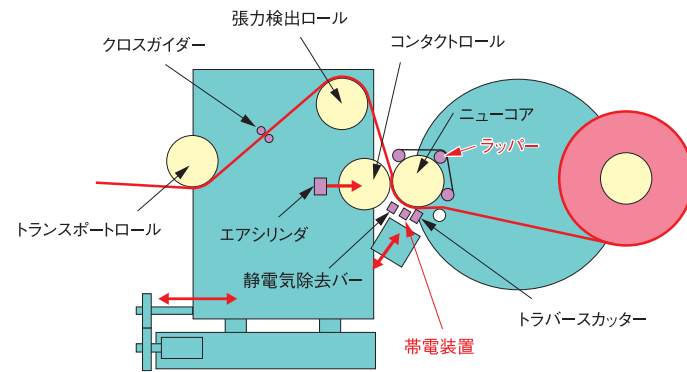
## ターレットワインダ

コンタクトロールは水平方向で巻に圧力を加えることで、薄いフィルムの巻取に正確な圧力制御を達成。

コンタクトロールの重量がニップ圧に影響を与えない構造を採用し、スプライスはフィルム幅方向にカッターが走行し、静電気帯電との組合せでシワなく巻き付けが可能です。

ラッパーと帯電装置により厚いフィルムの巻き付けを確実にします。

厚いフィルムを幅方向に確実に切断し巻き付けるために丸刃を使用し、腰のある厚いフィルムをコアにしっかり巻き付けるために、静電気帯電と巻き付けラッパーの組合せ装置を備えています。



## ラッパー

ラッパーは通常運転時は巻取コアの上方に待機し、スプライス時にコアを抱き込む位置に移動します。

“厚フィルム用”

待機中

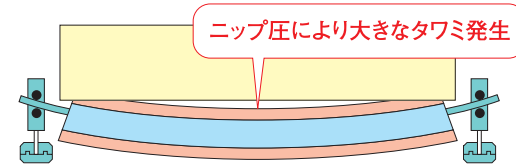


回転、下降してスプライス位置へ

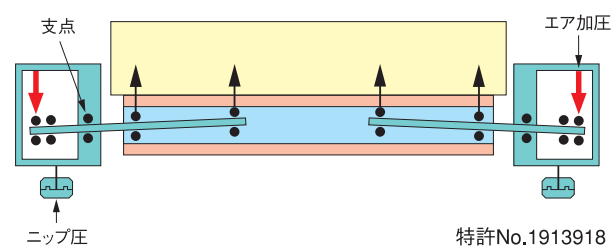
## ハイパーベンディングコンタクトロール

コンタクトロールは広幅フィルムでは中央部をニップするのが難しくなります。そこでロール自体に曲げる力を加え、均一なニップを達成します。

<通常コンタクトロール>



ロールのタワミはテコの原理により補正されます。



特許No.1913918

## スーパーXコーティング

ニップロール・コンタクトロール用表面処理

フィルムへのキズはニップが原因となる場合が多く、ゴムロールの表面を滑りやすくすることが対策になります。スーパーXコーティングは摩擦抵抗を極小にし、かつ表面強度も強くフィルムエッジによる損傷も極小です。

**Kobayashi** 株式会社 小林製作所

〒416-0921 静岡県富士市水戸島 2-1-1 TEL:0545-61-2405 FAX:0545-63-4570  
http://www.kobayashieng.co.jp E-mail:salesdept1@kobayashieng.co.jp



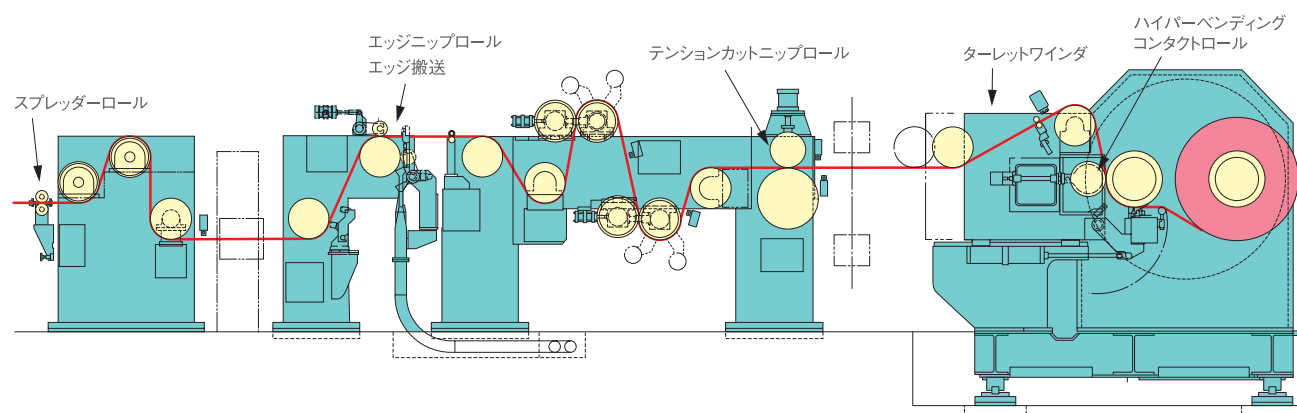
**Kobayashi**

# テイクアップ ワインダ Take-Up & Winder

Kobayashi  
Strong Point **3**

- 1 Top Quality**  
高品質へのベストパートナーとして貢献できます
- 2 Top Performance**  
最高の性能と継続力で利益に貢献します
- 3 Top Technology**  
技術蓄積と技術開発力でニーズに応え続けます

## システムフロー



## スプレッターロール

両エッジをニップすることで、  
フィルムのシワ、タルミを除去する。

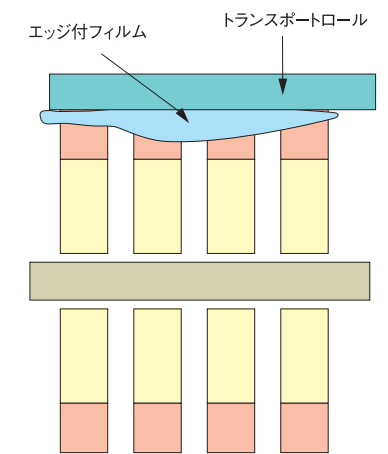
テンターからのフィルムはテイクアップ入口でシワが入りやすく、中央部がボーイングによって遅れやすい状況になります。そこで、テイクアップ入口のフィルム両端部にニップ式スプレッターを設け、フィルムをシワのない状態にしてSラップロールを通過させテンションカットします。



## エッジニップロール

狭幅分割ロールにて有効なニップ

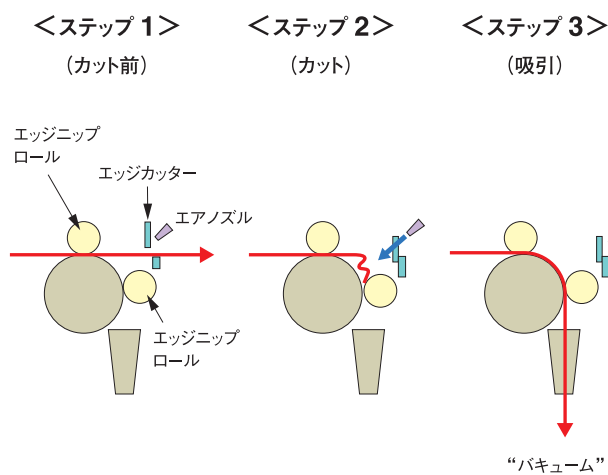
テンターからのフィルムは非常に厚く、厚みムラが大きくなります。エッジをトリムする際にフィルムを確実にニップすることで、トリム失敗を防止できます。そこで、狭い幅のロールを並べることで、エッジ形状にロールがなじみやすく、フィルムとのスリップを少なくすることに成功しました。



## エッジ搬送

エッジ搬送プロセス

エッジはトリムされた後に、ラインから外れてエッジ処理装置に風送されます。従来は人手で行っていましたが、失敗なく、かつ安全を確保するために自動となっています。



## テンションカットニップロール

全幅を均一にニップするため、下部ロールは大径にし、上部ロールは小径で重いロールを採用しています。この組合せがボーイング対策に有効です。

